

平成19年度 社会実験実施地域一覧

No.	地域	実験名称	実験概要
1	滋賀県 守山市	にぎわい回遊歩行空間形成へ向けての交通社会実験	守山駅周辺地区において、ハンプの設置や歩行者の安全性確保のための道路空間再配分を実施し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
2	大阪府 大阪市	宗右衛門町 安心・安全の為の再生 道づくり社会実験	大阪市宗右衛門町において、歩行者の安全性確保のための道路空間再配分を試行し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
3	兵庫県 尼崎市	「道路機能の明確化と啓発活動による交通円滑化」社会実験	尼崎市においてバスレーンのカラー化を行い、自動車やバスの走行性への効果を検証する
4	和歌山県 高野町	世界遺産高野山・歩いて周遊できる道づくり(仮称)社会実験	高野山において、トランジットモールや、歩行者の安全性確保のための道路空間再配分を試行し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
5	北海道 帯広市	帯広ホコテン・ばんば馬車トランジットモール社会実験	帯広駅周辺地区において、「ばんば馬車」によるトランジットモールの実施や、幹線道路における馬車の運行を実施し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
6	北海道 弟子屈町	摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通体系構築社会実験	摩周温泉周辺地域において、車道上に自転車レーンを設置し、周辺への影響を検証する
7	北海道 倶知安町	道路案内情報のサービス向上に関する社会実験	倶知安町において、通り名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施する
8	岩手県 盛岡市	まちぐるみエコ交通転換社会実験	盛岡市において、道路空間再配分により自転車レーンや自転車駐輪場を設置し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
9	秋田県 秋田市	小規模堆雪場の活用による冬期道路機能確保の社会実験	秋田市内の市街地において、空地を利用した小規模堆雪場の確保及び市民協働による除排雪効果の測定等を行い、小規模堆雪場の有効性を検証する。
10	福島県 会津若松市	道路を活かした人に優しく、魅力的観光都市づくり検証社会実験	会津若松市において、通り名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施するとともに、トランジットモールや、歩行者の安全性確保のための道路空間再配分を試行し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
11	栃木県 日光市	国際観光都市日光の駅前町における沿道空間活用社会実験	日光市において、通り名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施する
12	埼玉県 秩父市	秩父地区交通円滑化に向けた複合的社会実験	観光拠点である秩父市の羊山公園周辺地区において、携帯電話等を活用した情報提供とパークアンドレールライドを組み合わせて実施し、効果の検証を行う
13	東京都 中央区	日本橋みゆき通り江戸広小路路地空間復活社会実験	中央区において、通り名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施するとともに、賑わい創出のための道路空間再配分を試行し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
14	東京都 世田谷区	道路空間の再構築による安全な自転車走行環境の創出社会実験	世田谷区において、狭い幅員での安全な自転車走行環境の実現を目指し、自転車の一方通行を促す実験、自転車レーンの設置を実施する

15	東京都 八王子市	歩行空間の安全性の向上 を目指した道路活用社会実 験	八王子市において、歩行者の安全性確保のための道路 空間再配分を試行し、周囲への影響や、安全性の検証を 行う
16	新潟県 上越市	直江津地区まちづくり戦略 プラン「モール化」推進社会 実験	上越市直江津地区において、雁木を活用した停車スパー スの設置等を実施し、周囲への影響や、安全性の検証を 行う
17	島根県 松江市	松江しんじ湖温泉 そぞろ 歩きの楽しめる社会実験	宍道湖周辺地区において、歩行者の安全性確保のため の道路空間再配分を試行し、周囲への影響や、安全性の 検証を行う
18	島根県 松江市	ぐるっと美保関 鉄と文化を 伝える歩行空間創出社会 実験	美保関地区において、通り名を記した標識の設置やマップ による道案内を実施する
19	島根県 津和野町	「通り名で道案内システム」 実施社会実験	津和野町において、通り名を記した標識の設置やマップに よる道案内を実施する
20	岡山県 高梁市	城下町高梁の周遊型観光 をめざす道案内社会実験	高梁市において、通り名を記した標識の設置やマップによ る道案内を実施する
21	大分県 大分市	地域において持続可能な 歩行者天国の実施社会実 験	大分市において、トランジットモールを試行し、周囲への影 響や、安全性の検証を行う
22	宮崎県 日南市	「道」と「通り名」を通じた地 域情報提供の高度化社会 実験	油津地区において、通り名を記した標識の設置やマップに よる道案内を実施する

歩行空間の確保など歩行者優先施策（和歌山県高野町）

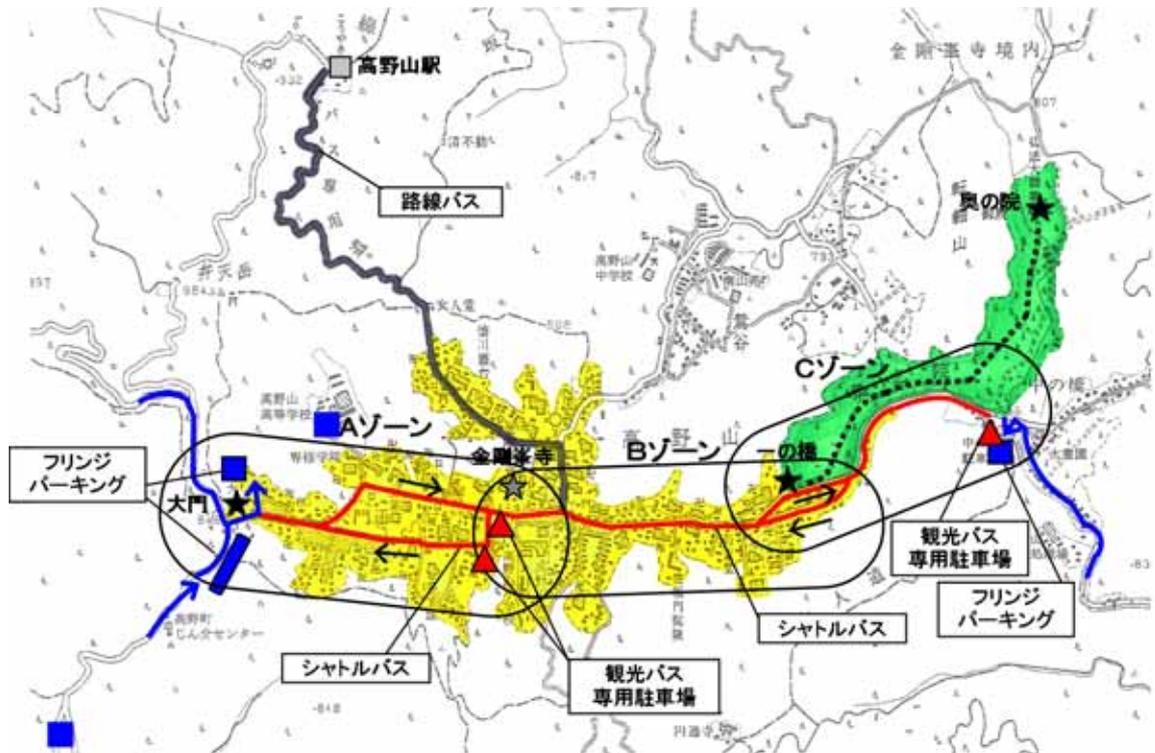
【施策の概要】

車優先の道路から歩行者優先の道路への再構築を図るため、現状の幅員での歩行空間の確保やトランジットモールなどに取組みます。

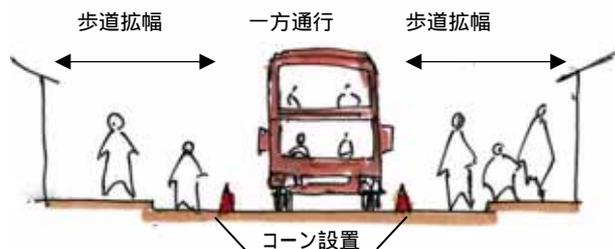
【代表事例】

和歌山県高野町：世界遺産高野町・歩いて周遊できるまちづくり（仮称）

- ・ 民間駐車場等を活用したフリンジパークングの設置及びマイカー流入規制
- ・ フリンジパークングと高野山中心部を結ぶシャトルバスを運行しパークアンドバスライドを実施
- ・ 高野山内駐車場の観光バス専用化



【Aゾーンでの対策】



【B、Cゾーンでの対策】

Cゾーンはシャトルバスの運行はいたしません



歩行空間の確保など歩行者優先施策（大阪市）

【施策の概要】

車優先の道路から歩行者優先の道路への再構築を図るため、現状の幅員での歩行空間の確保やトランジットモールなどに取組みます。

【代表事例】

大阪市：宗右衛門町 安心・安全の街、観光の街 再生に向けての道づくりの社会実験

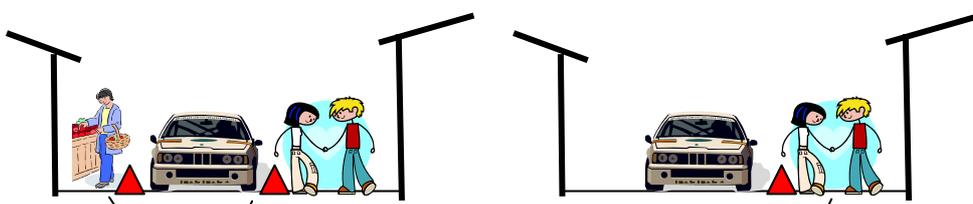
- ・ 現在の道路空間に歩道を設置する実験を実施
- ・ わかりやすい道案内の試行



現状写真



将来のイメージ



仮設の歩道

仮設の歩道

実験中のイメージ

平成 19 年度 社会実験実施地域の検討経緯について

平成 19 年度社会実験の実施地域の検討経緯は下表のとおり、「社会実験の推進に関する懇談会（座長：日本大学 高橋洋二教授）」を開催し、実験内容等について御意見をいただきました。

平成 19 年度 社会実験実施地域の検討経緯

平成 18 年 12 月 25 日	公募要領公表、公募開始
平成 19 年 1 月 31 日	公募締め切り
2 月 14 日	社会実験の推進に関する懇談会開催
4 月 3 日	プレスリリース

【過去の社会実験】テーマごと実施件数

年 度 テーマ	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
	実施 件数							
歩行者・自転車優先施策 (くらしのみちゾーン・トラ ンジットモール)	1	1	1	1	11	9	6	21
地域主体の道活用 (オープンカフェ等)	0	0	1	1	4	18	25	0
公共交通機関の利用促進	4	3	3	2	1	0	0	0
観光地の交通円滑化	1	1	3	3	0	0	0	2
自転車利用環境の向上	0	3	1	3	0	1	0	5
物流・駐車対策	0	1	3	0	2	0	0	1
通り名・位置番号方式によ る道案内システム	0	0	0	0	0	0	0	10
その他の施策	0	0	2	4	2	1	1	2
計	6	9	14	14	20	29	32	41